

カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2019年1月19日～2019年1月25日の推移】

【1】先週の回顧

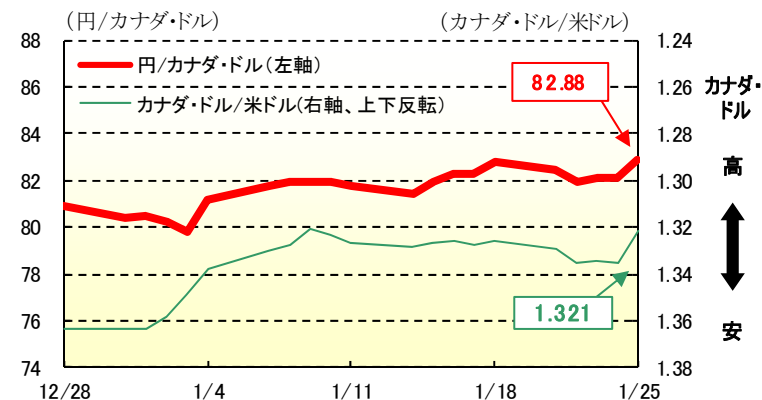
先週のカナダ・ドルは、対円で横ばいになりました。カナダ5年国債利回りは低下しました。

先週発表された経済指標がいずれも予想を下回る軟調な結果となったことから、カナダの金利は低下しました。カナダ・ドルに関しては、週前半は軟調な経済指標を受け下落したものの、週後半に関しては米国の政府機関閉鎖の部分的解除や、米国株が上昇し投資家のリスク選好姿勢が強まったことを背景に対円で下落幅を縮める展開になりました。

先週、小売売上高が発表されており、-0.9%（前月比）と軟調な結果になっています。自動車販売の落ち込みやガソリン価格の下落の影響が大きく出ています。

【カナダ・ドル 為替推移】

(2018年12月28日～2019年1月25日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

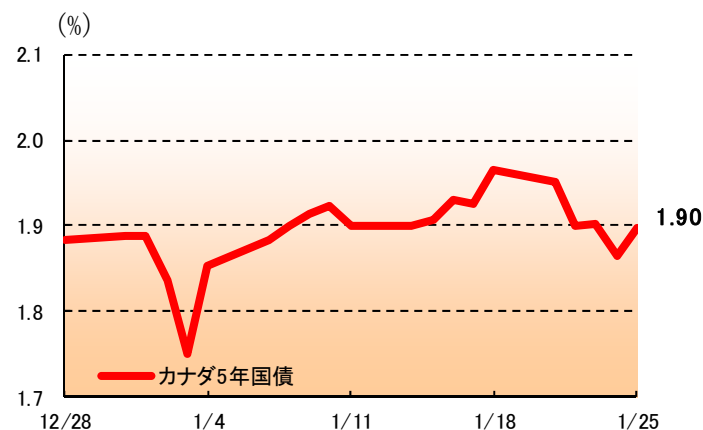
今週、カナダでは、GDP(国内総生産)の発表が予定されています。先週、発表された小売売上高などの経済指標が軟調な結果になったことを受け、前月比でマイナスになることが予想されています。

米国ではFOMC(米国連邦公開市場委員会)の開催が予定されており、政策金利の据え置きが見込まれています。足元、量的金融緩和で買い入れた保有資産縮小の終了や利上げペースの鈍化が市場で意識されており、声明文等で何らかの方向性が示された場合、米国金利の低下圧力が強まり、それにカナダの金利も連れることが予想されます。

株価、原油価格に関しては、年初より上昇基調になっていたものの、上昇に一服感が出ており、今後の値動きに注目が集まります。

【カナダ 金利推移】

(2018年12月28日～2019年1月25日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>